

【研究課題名】

磁場による高周期14族元素三重項感応性化学種の創製

【各研究項目の連携状況】

領域内の他の研究グループとの連携状況（予定を含む）について、①簡略化した共同研究内容②連携研究代表者姓（研究項目班）③共著論文の有無（件数）を研究内容毎に記載

① 安定ゲルマノンの光物性と光反応性，②松尾 司(A01)，③無

【研究費の使用状況（設備の有効活用、研究費の効果的使用）】

光照射時に生じる短寿命科学種の同定を実施するために、ピコ秒ライトパルサーを設置した。安定ゲルマノンなどの蛍光寿命測定に有用に稼働している。その他は、合成用試薬，溶媒，実験用消耗品である。

【原著論文】

1. T. Yago, K. Ishikawa, R. Katoh, *M. Wakasa, "Magnetic Field Effects on Triplet Pair Generated by Singlet Fission in an Organic Crystal: Application of Radical Pair Model to Triplet Pair," *J. Phys. Chem. C*, **120**, 27858-27870 (2016).

【総説・解説】

1. *M. Wakasa, T. Yago, A. Hamasaki, M. Gohdo, "Reactions in the Magnetic Field", in Encyclopedia of Physical Organic Chemistry; Z. Wang, U. Wille, E. Juaristi Eds.; John Wiley&Sons, New York 2017; Vol.2 pp1035-1126.